

令和5年度 公益社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会総会 式次第

日時：2023年5月31（水）

午後3時～

場所：宮崎市民活動センター
大会議室

1. 開会の辞
2. 代表理事挨拶
3. 議事録署名人の選出
4. 議 事
 - (1) 令和4年度 事業報告（案）について
 - (2) 令和4年度決算見込み（案）について
 - (3) 令和5年度 事業計画（案）について
 - (4) 令和5年度収支予算（案）について
5. その他
6. 閉会の辞

第一号議案 令和4年度（2022年度）理事会 令和4年度事業報告書（案）

令和4年度理事会 議決

2022（令和4年度）

事業報告書（案）

2022年4月 1日から
2023年3月31日まで

公益社団法人 生頼範義記念 みやざき文化推進協会

はじめに

【環境認識】

新型コロナウイルスの感染拡大が世界中に拡大して3年目、収束から with コロナの時代に移行する中、新たな価値観で日常と向き合う時代を迎える中、当法人としても新たな環境下での活動に対応していくことが重要であると認識している。

昨年度は、ロシアのウクライナ侵攻に起因するエネルギーの高騰、円安による物価高が加速し、市民生活に多大な影響を与えている。

宮崎県内でも職業として文化・芸術に携わる若年層が活躍する場の創出の限界が顕在化され、宮崎県という地方都市での文化・芸術に携わる人材の育成の場、環境づくりが喫緊の課題として挙げられている。

宮崎県民に対する文化・芸術への意識の醸成、またこれらの活動に携わる人材のネットワーク化が計画されており、前出の課題の解決に向けた取り組みを実現する契機となると認識している。

令和2年度に一般社団法人から公益社団として新たな活動を開始した当法人は、芸術文化の普及及び人材育成に努め、より広く活動の幅を広めていくことが時代に即したものであることを自負し「民間による自発的な文化・芸術活動」を推進し「魅力ある地域社会を創造する」ことを念頭におき、民間公益活動の質と量を高めていくことが重要であると認識している。

以上の環境認識のもと、令和4年度事業計画は、故・生頼範義氏が遺したイラスト、絵画作品を活用し、宮崎県内での文化・芸術に対する県民の意識の醸成及び、文化・芸術に携わる人材育成を柱に諸施策を達成するための With コロナの時代の活動として位置づけるものであった。

【基本方針】

故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品を保存・保管に努めると共に、宮崎県内での展示会等を企画し、文化・芸術に携わる若手の人材育成と県民の文化に対する意識の醸成を企図することで、地域社会の発展に寄与することを目的として令和4年度も次の3項目を軸に事業計画を策定する。

- 1) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置実現に向けての計画策定
- 2) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
- 3) 若手アーティスト育成のための支援

【令和4年度事業報告】

基本方針に基づき、宮崎県の芸術・文化を取り巻く環境変化・課題を適切にとらえつつ、以下の具体的活動を積極的に推進した。

- 1) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置・実現に向けての計画策定
 - ・年1回1カ月程度の展覧会の開催
 - ・常設展示会場の設置に向けての調査研究、提言活動
 - ・宮崎県内からの生頼作品に関する情報の発信
- 2) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
 - ・故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品の製作年度の調査
 - ・イラスト及び絵画作品の製作目的の解明
 - ・イラスト及び絵画作品の保管場所の確保に対する議論を深め、実現に向けて関係機関への提案を行った。
 - ・常設の展示会場設置に向けて議論を深め、実現に向けて関係機関への提案を行った。
- 3) 若手アーティスト育成のための支援
 - ・芸術文化のさらなる普及を目指し第3回「生頼範義賞」を実施。その準備及び関係機関との連携を図って事業実施に取り組んだ。
 - ・将来のアーティストと成りえる人材の育成に係る課題と取組について議論を深めた。

「事業実施内容」

〈公益事業〉

1. 故・生頼範義氏の遺した作品の普及・啓発を目的とし、展覧会を企画すると共に、常設展示会場の設置に関する事業（公1）
 - （1）展覧会「生頼範義展（公1－①）」

2022年12月に東京青梅市の「吉川英治記念館」において「生頼範義展」開催

第一号議案 令和4年度（2022年度）理事会 令和4年度事業報告書（案）

に向けての準備・打ち合わせを行っていたが、新型コロナウイルスの影響で吉川英治記念館の判断で2023年度開催に会期が変更された。

2023年度中の開催で再度スケジュールを調整。

（2）常設展示場設置の計画策定（公1－③）

生頼作品が日常の中でいつでも見られるような環境を創造するため、宮崎県内に常設展示場を設置するための計画策定に着手し、関係機関と調整のうえ、必要であれば関係機関に提案し実現に向けての活動を行った。

【取組み状況】

宮崎市文化・市民活動課と調整。令和4年5月に生頼氏が遺した油絵151の作品を、宮崎市が新たに改装した「蓮ヶ池歴史資料館跡地」の収蔵施設に移設。同年6月から、宮崎市と当法人の契約後、収蔵を開始した。

（3）故・生頼範義氏の遺した作品の保存及び調査研究に関する事業（公1－②）

1 生頼範義作品の調査研究

現在、故・生頼範義氏のアトリエに保管されているイラスト・及び絵画作品の詳細（制作年度、制作の目的、画材等）を調査し後世に遺していく資料として整備するための調査研究を行った。

みやざきアートセンター収蔵庫で年間通しての確認作業。

令和5年2月25日には東京在住のイラストレーター久保周史の所有する生頼氏の資料を確認・調査を行った。

2 生頼作品保存のための施設設置の計画策定

前項の作品を保存、保管していくための施設を確保するための計画策定に着手し、関係機関との協議を行った。

2. 若手アーティスト育成のための支援に関する事業（公2）

（1）第3回「生頼範義賞」の企画・運営

芸術文化のさらなる普及を目指し、「生頼範義賞」を実施。受賞者発表会等を開催して若手アーティストとイラスト分野における産業との幅広い連携を図る契機とした。

（公1－①）の展覧会の開催と連動し実施した。

●会 期：2022年11月12日（土）～11月27日（日）＜16日間＞

10：00～18：00 ※休館日なし

（応募期間：2022年7月25日（土）～7月31日（日）＜7日間＞）

●会 場：みやざきアートセンター5階（常設展示室）

●入 場 料： 無料（出品料：無料）

●動 員： 作品展入場者 1,910 人

（同時開催の第 47 回宮崎市美術展の入場者に準ずる）

作品応募総数 133 点

一般部門 出品数 99 点・出品者数 85 名／学生部門 34 点・33 名）

●企画目的：

宮崎市に居を構え、2015 年に他界したイラストレーター生頼範義氏（宮崎県文化賞・宮崎市功績者表彰、文化庁映画賞受賞）の名を冠した賞を開催することで、氏の偉業と功績を後世に伝えると共に、次世代のイラストレーターを育成する。募集作品のテーマを①「神話・SF・ファンタジー」・②「限定なし」として全国からイラストレーション作品を公募し、受賞作品展を宮崎市美術展と同時開催することで、応募者数と来場者数の増員に繋げる。

●成 果：

第 3 回となる今回は、応募総数 133 点となり過去 2 回（第 1 回 24 点、第 2 回 67 点）に比べ大幅に増加した。会期中は受賞作品 5 点と入選作品 11 点の計 16 点を展示した。応募者の住所は北海道から九州まで 31 都道府県各地であったことから、昨年に引き続き公募情報のまとめサイトや SNS の有料広告など WEB ツールを使った広報活動が有効だったのではないかと考えられる。また、テーマを定めない「限定無し」を設置したことで自由な作風の作品も出品することができたことも応募数の増加に繋がったのではないかと。

本年度も宮崎市美術展と同時開催とし、受賞作品展を同じフロアにしたことでスムーズに誘導することができた。また、展示室内に生頼範義賞の概略パネルを設置したことで、宮崎市美術展の出品者に生頼範義賞の認知度を高めるとともに、次年度の応募に繋がるのではないかと期待している。

●反 省：

応募作品の増加とともに質も向上し、審査は難航したが、審査員からは「審査のやりがい

第一号議案 令和4年度（2022年度）理事会 令和4年度事業報告書（案）

がある」との声をいただいた。次年度より年齢制限を設けるため、応募数の増減が読めない状況であるが、増加するようであれば事務局にて審査作品を絞り、スムーズに審査が行えるように検討したい。

また、AIによる画像作成ソフトを使用した作品の出品が懸念事項として挙げられた。審査員・事務局で協議を行い、「ソフトの使用を認めるが、その旨を応募の際に申告すること」として合意した。応募フォームの様式を変更するなど対応が必要である。

●内 容：

審査員… 石川 千佳子（審査委員長／宮崎大学副学長兼附属図書館長）、オーライ タロー（画家）、開田 裕治（イラストレーター）、氷川 竜介（明治大学大学院特任教授）、樋口 真嗣（映画監督）

応募規定… アマチュアであること。

- （１）テーマは①「SF・ファンタジー・神話」・②「限定なし」とする。
- （２）高校生部門及び一般部門（18歳以上）
- （３）出品料無料。応募に必要な制作費、送料は出品者の負担とする。
- （４）画材は自由。手描きの場合は、キャンバス F20 号（72.7 cm×60.6 cm）または B2（72.8 cm×51.5 cm）以内とする。デジタル作品の場合は、A3（29.7 cm×42 cm）以上 B2 以内。解像度 350dpi 以上。縦横は問わない。
- （５）一人 2 点以内。

[実施状況（スケジュール）]

日時			内容
7 月	25 日（土）～7 月 31 日（日）		応募受付期間
8 月	19 日（金）	10 時～12 時	一次審査（データ送付後、リモート審査）
	29 日（月）～9 月 4 日（日）		一次審査通過作品応募（原画輸送）期間
9 月	11 日（日）	13 時～16 時	二次審査（多目的室にて現物審査）、講評動画撮影
	19 日（月）		審査結果発表
10 月	2 日（日）		二次審査落選作品発送（着払い） ※ヤマト運輸
	26 日（水）		受賞作品展示 ※長岡センター長・佐土原高校生インターンシップ
11 月	11 日（金）	13 時～13 時半	生頼範義賞表彰式
	12 日（土）	9 時半～10 時	開幕 宮崎市美術展同時開催

第一号議案 令和4年度（2022年度）理事会 令和4年度事業報告書（案）

	27日（日）	閉幕
12月	順次9日（金）	作品撤去・梱包作業 ※長岡センター長 作品発送（着払い） ※ヤマト運輸

[記録写真]

		
9/11 二次審査	9/11 二次審査	11/11 表彰式
		
11/11 表彰式	11/11 表彰式	5F ロビー（展示室前）
		
入選作品	受賞作品	展示室・講評動画

授賞式

- 日 時：令和4年11月11日（金） 13:00～13:30
- 会場：みやざきアートセンター5階 ロビー
- 列席者：
 - [主催] みやざきアートセンター センター長 長岡 政己
 - 生頼範義賞審査委員会

第一号議案 令和4年度（2022年度）理事会 令和4年度事業報告書（案）

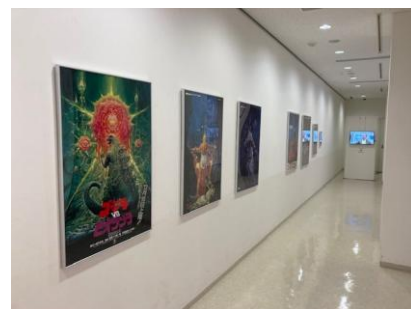
審査委員長 石川千佳子 氏・

審査員 オーライ タロー 氏

特別協賛 前田昌利 株式会社内田洋行代表取締役社長代

[受賞者] 一般部門 大賞1名 倉羽 博之 氏（千葉県在住）

●動 員 ：計 25 名



- （2）若手アーティスト育成の場となるよう他団体(出版者、NPO 等)との連携により、将来のイラストレーター、画家を目指す人材の育成に関わる事業として生頼賞と連携して早川書房の出版する書籍の表紙として大賞受賞者の作品が採用されるようコーディネートを行った。（公3－②）

〈その他事業〉

4. 関連商品の製作・販売（収1）

（1）複製原画等の製作・販売に関する事業

公益事業を展開するための事業費を捻出するため、生頼家の許諾を得て生頼氏の作品の中からセレクトしたものの図録、複製原画等を作製し販売した。

宮崎市のふるさと納税の返礼品での現在、宮崎市の担当課が変更になったため、販売活動を休止中しており、令和5年度からの返礼品として指定されるよう調整を行った。

第二号議案

貸借対照表

公益社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会

令和5年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【3,725,094】	【流 動 負 債】	【217,750】
現金・預金	3,723,994	未 払 法 人 税 等	71,000
前払費用	1,100	未 払 費 用	146,750
		負 債 合 計	217,750
		純 資 産 の 部	
		【株 主 資 本】	【3,507,344】
		[出資金受入金]	2,000,000
		[利益剰余金]	1,723,994
		(その他利益剰余金)	1,507,344
		繰越利益剰余金	1,507,344
		(うち当期純損失)	1,062,510
		純 資 産 合 計	3,507,344
	3,725,094	負債・純資産合計	3,725,094

第二号議案

令和4年度(2022年度)収支決算書 2022年4月1日 ~ 2023年3月31日 公益社団法人生頼範義記念みやざき文化推進協会

(単位:円)

	公益目的事業 会計	法人会計	令和4年度 (予算)	令和4度 (決算)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1
					公1	公2	公3	共通	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0					
② 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0					
③ 受取会費	300,000	0	300,000	0	0	0	0	0	0
正会員受取会費			0	0					
賛助会員受取会費	300,000		300,000	0					
名誉会員受取会費			0	0					
④ 事業収益	0	0	145,000	122,002	0	0	0	122,002	0
(公1) 博物館事業			80,000	0					
(公2) 表彰事業			30,000						
(公3) 学習会開催事業			50,000	0					
収益事業			30,000	122,002				122,002	
			0						
			0	0					
			0	0					
			0	0					
⑤ 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0					
⑥ 受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0					
⑦ 受取寄付金		0	0	0		0	0	0	0
			0						
⑧ 雑収入	0	0	30	1,827	0	0	0	1,800	0
雑収入				1,800				1,800	
受取利息			30	27				27	
			0	0					
経常収益計	300,000	0	1,750,030	123,829	0	0	0	123,802	0

(単位:円)

	公益目的事業 会計	法人会計	令和4年度 (予算)	令和4度 (決算)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1
					公1	公2	公3	共通	
(2)経常費用									
事業費	982,555	132,784	1,657,137	1,115,339	225,775	757,180	0	132,384	0
仕入(事業費)	757,180		460,000	757,180		757,180			
人件費			0	0					
福利厚生費			30,000	0					
運賃			100,000	0					
旅費交通費	47,973		230,000	47,973	47,973				
交際費			30,000	0					
支払報酬	48,737		48,737	48,737	48,737				
通信費		15,884	10,000	15,884				15,884	
消耗品費	11,242		50,000	11,242	11,242				
印刷製本費			75,000	0					
事務用消耗品費			0	0					
諸謝金			180,000	0					
支払手数料		700	8,000	700				700	
新聞図書費			5,000	0					
水道光熱費	116,873		0	116,873	116,873				
租税公課		400	400	400	400				
外注費		115,800	400,000	115,800				115,800	
資料購入費			30,000	0					
雑費	550		0	550	550				
			0	0					
			0	0					
			0	0					
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬			0	0					
給与手当			0	0					
臨時雇賃金			0	0					
退職給付費用			0	0					
			0	0					
経常費用計	982,555	132,784	1,657,137	1,115,339	225,775	757,180	0	132,384	0

	公益目的事業 会計	法人会計	令和4年度 (予算)	令和4度 (決算)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1
					公1	公2	公3	共通	
評価損益等調整前当期経常増減額	(682,555)	(132,784)	92,893	(991,510)	(225,775)	(757,180)	0	0	0
基本財産評価損益等									
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
評価損益等計									
当期経常増減額	(682,555)	(132,784)	92,893	(991,510)	(225,775)	(757,180)	0	0	0
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
固定資産売却益			0						
雑収入			0						
受取利息			0						
			0						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産売却損			0						
			0						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	(682,555)	(132,784)	92,893	(991,510)	(225,775)	(757,180)	0	0	0
法人税・住民税・事業税				217,900					
当期一般正味財産増減額	(682,555)	(132,784)	92,893	(1,209,410)	(225,775)	(757,180)	0	0	
一般正味財産期首残高			4,678,554	4,716,754					
一般正味財産期末残高			4,820,584	3,507,344					
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
受取補助金等									
一般正味財産への振替額									
当期指定財産増減額			0	0					
指定正味財産期首額			0	0					
指定正味財産期末額			0	0					
Ⅲ 正味財産期末残高			4,820,584	3,507,344					

第三号議案 令和5年度（2023年度）事業計画書（案）

令和4年度 総会 議決

令和5年度（2023年度）

事業計画書（案）

2023年4月 1日から
2024年3月31日まで

公益社団法人 生頼範義記念 みやざき文化推進協会

はじめに

【環境認識】

新型コロナウイルスの感染拡大が世界中に拡大して3年が経ち、収束からWith コロナの時代に移行し、新たな価値観で日常と向き合う時代を迎える中、当法人としても新たな環境下での活動に対応していくことが重要であると認識している。

昨年度は、ロシアのウクライナ侵攻に起因するエネルギーの高騰、円安による物価高が加速し、市民生活に多大な影響を与えている。

宮崎県内でも職業として文化・芸術に携わる若年層が活躍する場の創出の限界が顕在化され、宮崎県という地方都市での文化・芸術に携わる人材の育成の場、環境づくりが喫緊の課題として挙げられている。

宮崎県民に対する文化・芸術への意識の醸成、またこれらの活動に携わる人材のネットワーク化が計画されており、前出の課題の解決に向けた取り組みを実現する契機となると認識している。

令和2年度に一般社団法人から公益社団として新たな活動を開始した当法人は、芸術文化の普及及び人材育成に努め、より広く活動の幅を広めていくことは時代に即したものであることを自負し「民間による自発的な文化・芸術活動」を推進し「魅力ある地域社会を創造する」ことを念頭におき、民間公益活動の質と量を高めていくことが重要であると認識している。

以上の環境認識のもと、2023年（令和5年）度事業計画は、故・生頼範義氏が遺したイラスト、絵画作品を活用し、宮崎県内での文化・芸術に対する県民の意識の醸成及び、文化・芸術に携わる人材育成を柱に諸施策を達成するためのWith コロナの時代の活動として位置づけ2023年（令和5年）度の活動にあたるものである。

【基本方針】

故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品を保存・保管に努めると共に、宮崎県内での展示会等を企画し、文化・芸術に携わる若手の人材育成と県民の文化に対する意識の醸成を企図することで、地域社会の発展に寄与することを目的として2023年（令和5年）度は次の3項目を軸に事業計画を策定する。

- 1) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置実現に向けての計画策定
- 2) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
- 3) 若手アーティスト育成のための支援

【2023年（令和5）年度事業方針】

基本方針に基づき、宮崎県の芸術・文化を取り巻く環境変化・課題を適切にとらえつつ、以下の具体的活動を積極的に推進する。

- 1) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置・実現に向けての計画策定
 - ・年1回1カ月程度の展覧会の開催
 - ・常設展示会場の設置に向けての調査研究、提言活動
 - ・宮崎県内からの生頼作品に関する情報の発信
- 2) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
 - ・故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品の制作年度の調査
 - ・イラスト及び絵画作品の制作目的の解明
 - ・イラスト及び絵画作品の保管場所への収蔵を行い、保存に要する経費を捻出する。
 - ・常設の展示会場設置に向けて議論を深め、実現に向けて関係機関への提案を行う

3) 若手アーティスト育成のための支援

- ・芸術文化のさらなる普及を目指し「生頼範義賞」を継続して実施するための準備及び関係機関との連携を図る
- ・将来のアーティストと成りえる人材の育成に係る課題と取組について議論を深める

「事業実施内容」

〈公益事業〉

1. 故・生頼範義氏の遺した作品の普及・啓発を目的とし、展覧会を開催するための企画を行うと共に、常設展示会場の設置に関する事業（公1）

（1）展覧会開催のための企画案策定（公1－③）

新たな展覧会企画案の策定。

（2）常設展示場設置の計画策定（公1－①）

生頼作品が日常の中でいつでも見られるような環境を創造するため、宮崎県内に常設展示場を設置するための計画策定に着手し、関係機関と調整。必要であれば関係機関に提案し実現に向けての活動を行う。

2. 故・生頼範義氏の遺した作品の保存及び調査研究に関する事業（公1－②）

（1）生頼範義作品の調査研究（公1－②）

現在、故・生頼範義氏のみやざきアートセンター及び宮崎市歴史資料館に保管されているイラスト・及び絵画作品の詳細（制作年度、制作の目的、画材等）を調査し後世に遺していく資料として整備するための調査研究を行う。

（2）生頼作品保存のための施設設置の計画策定（公1－②）

前項の作品を保存、保管していくための関係機関と調整し実現に向け

第三号議案 令和5年度（2023年度）事業計画書（案）

での活動を行う。

- （3）上記（1）（2）を達成するため、広く賛助会員及び寄付を募るための広報を行う。

3. 若手アーティスト育成のための支援に関する事業（公2）

（1）第4回「生頼範義賞」の公募事業（公2－①）

芸術文化のさらなる普及を目指し、第4回「生頼範義賞」を公募し、受賞者発表会等を開催し若手アーティストとイラスト分野における産業との幅広い連携を図る契機とする。2023年11月に授賞式を予定。

- （2）若手アーティスト育成の場となるよう他団体(出版者、NPO等)との連携により、将来のイラストレーター、画家を目指す人材の育成に関わる課題と取り組みについて学習会、意見交換会等を開催する。（公3）

〈その他事業〉

4. 関連商品の製作・販売の企画立案（収1）

（1）複製原画等の製作・販売に関する事業（収1）

公益事業を展開するための事業費を捻出するため、生頼家の許諾を得て生頼氏の作品の中からセレクトしたものから図録・複製原画等を作製し販売する企画を立案する。

なお本収益事業で得た利益の50%は公益事業の事業費として充当する。

第四号議案

令和5年度(2023年度)収支予算書
2023年4月1日 ~ 2024年3月31日
公益社団法人生頼範義記念みやざき文化推進協会

(単位:円)

	公益目的 事業会計	法人会計	令和5年度 (予算)	令和4年度 (実績)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1	合計
					公1	公2	公3	共通		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0							0
② 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0							0
③ 受取会費	200,000	0	200,000	0	0	0	0	200,000	0	200,000
正会員受取会費			0							0
賛助会員受取会費	200,000		200,000					200,000		200,000
名誉会員受取会費			0							0
④ 事業収益	1,250,000	200,000	1,450,000	122,002	500,000	300,000	50,000	300,000	300,000	1,750,000
(公1) 博物館事業	800,000		800,000		500,000			300,000		800,000
(公2) 表彰事業	300,000		30,000			300,000				300,000
(公3) 学習会開催事業	50,000		50,000				50,000			50,000
収益事業	100,000	200,000	150,000	122,002					300,000	600,000
			0							0
			0							0
			0							0
			0							0
⑤ 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0							0
⑥ 受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0							0
⑦ 受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0							0
⑧ 雑収入	0	30	30	1,827	0	0	0	0	0	30
雑収入			0	1,800						0
受取利息		30	30	27						30
			0							0
経常収益計	1,450,000	200,030	1,650,030	123,829	500,000	300,000	50,000	500,000	300,000	1,950,030

(単位:円)

	公益目的 事業会計	法人会計	令和5年度 (予算)	令和4年度 (実績)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1	合計
					公1	公2	公3	共通		
(2)経常費用										
事業費	1,638,000	10,000	1,443,000	1,115,339	405,000	970,000	0	68,000	0	1,648,000
仕入	520,000	0	520,000	757,180		520,000				520,000
人件費			0	0						0
福利厚生費		10,000	10,000	0				10,000		10,000
運賃	100,000		100,000	0	70,000	30,000				100,000
旅費交通費	230,000		200,000	47,973	50,000	150,000				230,000
交際費	30,000		20,000	0	10,000	10,000				30,000
支払報酬			0	48,737						0
通信費	10,000		10,000	15,884		10,000				10,000
消耗品費	50,000		50,000	11,242		50,000				50,000
印刷製本費	75,000		20,000	0		20,000				75,000
事務用消耗品費			0	0						0
諸謝金	180,000		180,000	0		180,000				180,000
支払手数料	8,000		8,000	700				8,000		8,000
新聞図書費	5,000		5,000	0	5,000					5,000
水道光熱費			0	116,873						0
租税公課			0	400						0
外注費	400,000		300,000	115,800	250,000			50,000		400,000
資料購入費	30,000		20,000	0	20,000					30,000
雑費			0	550						0
			0							0
			0							0
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬			0							0
給与手当			0							0
臨時雇賃金			0							0
退職給付費用			0							0
			0							0
経常費用計	1,638,000	10,000	1,443,000	1,115,339	405,000	970,000	0	68,000	0	1,648,000

	公益目的 事業会計	法人会計	令和5年度 (予算)	令和4年度 (実績)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1	合計
					公1	公2	公3	共通		
評価損益等調整前当期経常増減額	(188,000)	190,030	207,030	(991,510)	95,000	(670,000)	50,000	432,000	300,000	302,030
基本財産評価損益等										0
特定資産評価損益等										0
投資有価証券評価損益等										0
評価損益等計										0
当期経常増減額	(188,000)	190,030	207,030	(991,510)	95,000	(670,000)	50,000	432,000	300,000	302,030
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
固定資産売却益			0							0
雑収入			0							0
受取利息			0							0
			0							0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
固定資産売却損			0							0
			0							0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	(188,000)	190,030	207,030	(991,510)	95,000	(670,000)	50,000	432,000	300,000	302,030
法人税・住民税・事業税			71,000	71,000				0	0	0
当期一般正味財産増減額	(188,000)	190,030	136,030	(1,062,510)	95,000	(670,000)	50,000	432,000	300,000	302,030
一般正味財産期首残高			3,725,094	4,678,554						
一般正味財産期末残高			3,861,124	3,725,094						
Ⅱ 指定正味財産増減の部										
受取補助金等										
一般正味財産への振替額										
当期指定財産増減額			0	0						
指定正味財産期首額			0	0						
指定正味財産期末額			0	0						
Ⅲ 正味財産期末残高			3,861,124	3,725,094						